

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：特別養護老人ホームしおさい新館

サービス種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護

日 時：令和6年4月5日（金曜日）10時00分～11時15分

場 所：しおさい会議室

出席者：5人

利用者代表	0人	知見を有する者	0人
利用者家族	1人	大田市職員	2人
地域住民の代表	2人		
事業所職員（職名：施設課長 主任 ユニットリーダー）			3名

報告事項：

利用状況

- ① 入所者の人数 20名（退所0名 入所1名 定員20名）
- ② 要介護度 要介護5 10名 ・ 要介護4 9名
要介護3 1名
- ③ 男女比率 男性4名 ・ 女性16名
- ④ 年齢 65歳～101歳 平均89.6歳

介護状況

- ① 起き上がり全介助 15名
- ② 胃瘻 0名
- ③ 排せつ全介助 18名
- ④ チェアインバス：ストレッチャー入浴 11名：8名
- ⑤ 肺炎入院 0名
- ⑥ 褥瘡 1名（病院で形成 徐々に改善）
- ⑦ 重度拘縮 0名
- ⑧ 苦情相談 0件

- ⑨ 身体拘束 0 件
- ⑩ 受診以上の介護事故 0 件

新型コロナ感染症対応状況

	感染対応の概要	
	インフルエンザウイルス	新型コロナウイルス
利用者罹患	0 名	0 名
職員罹患	0 名	3 名
受診・入院	0 名	0 名
介護	通常対応中	
面会	通常対応中 一般：面会室 3 月 86 件 看取り：直接面会 週 1 回、15 分としているが、可能な限り融通している	
外出	外部受診：家族協力によるもの 0 名 施設送迎によるもの 0 名 一時帰宅：0 名 職員付き添いのない外出時は 3 日間居室過ごしを依頼	

- ・罹患した職員は同居家族からの感染が多い。利用者への感染はない。

1、ユニット活動状況

- ・ユニットでお誕生日をお祝いした。家族からは家族写真やプレゼントのお菓子が届き、「美味しいな、嬉しいな」と大変喜ばれていた。
- ・日常的にしりとりゲームやボールを使った体操、書道をして楽しまれている。みんなで何か一つのことをするというより、したいことをそれぞれが行い、それぞれが楽しまれている様子。書道で書いた字はユニットに掲示し「これは私が書いた」と利用者同士でお話されている。
- ・ユニットの垣根を越えて利用者同士の交流やご家族様との交流もある。一緒にお茶を飲んだりお菓子を食べて過ごされたりしている。
- ・4 月 17 日に仁万のお祭り、ユニットではお菓子作りやレクレーション活動も計画している。

2、意見交換

(家族代表)面会に行くときちゃんと衣類を整え、整髪もされている。面会の予定でない時も身なりを整えてくれている。

→ (ユニットリーダー) 日頃より、居室からリビングへ出る際は身なりを整えるようにしています。

(地域住民代表) 面会に関して、大田市内の他の事業所も面会は 15 分で決まっているのか。

→ (大田市職員) 施設によると思う。どこの施設も模索している状況と思う。

→ (介護主任) 次の時間に面会予約がはいっていなければ時間の融通を利かせた対応はしている。家族の顔がみれるように対応していく。

(地域住民代表) 先日、離職率が低いということで表彰をされていた。生産性の向上や介護ロボットの導入を頑張ってもらいたい。

3、事業計画 ※別紙参照

・富士産業が撤退し 4 月から厨房が直営化になった。安全、確実に遅滞なく提供していく。

・利用者ひとりひとりに合わせる事で無理、無駄、ムラがなくなり、効率が上がる。質を上げる為に介護ロボットを使用していく。

・自宅で親や兄弟を介護をされている男性が増えている。介護技術で還元できたと思っている。法人のサービスを使っている方を対象に案内していく。少しでも楽になるような材料見つけてくださいと言う案内をしていくことで地域貢献かなと言うふうに思っている。

・家族と過ごす時間を持ってもらえたらという気持ちから納涼祭、敬老会は家族同席をしていく。窓越しの面会ではなく行事を楽しんでもらえたらと思う。

・4 月 15 日に第一回の打ち合わせ会議が開催される。

・部屋代が 8 月以降は 60 円値上げになる。大体 4000 円程度上がってくるのでそれに見合ったケアをしていきたいと思う。

4、その他

・施設内視察は 6 月、10 月に行う。

次回予定 令和 6 年 6 月 7 日 (金曜日) 10 時～11 時